

# 伊東市民病院



伊東市民病院理念  
市民の生命と健康と生活を守り  
地域発展に寄与します



皆さん、伊東市民病院に興味を持っていただいております。  
このPowerPointファイルは、伊東市民病院を見学して頂いた方々にお見せしながら『プログラムの概要』を説明するものです。  
ご質問は、当臨床研修センター宛に、何でも、メールでお尋ねください。担当者が懇切丁寧にお答えいたします。  
では、始めましょう。

# 伊東ってどこ？



伊東市は、伊豆半島の東部の北寄り、熱海から電車で約30分のところに位置する人口約6万4千人の温泉観光都市です。伊東温泉は、別府温泉、湯布院温泉、と並んで日本三大温泉といわれています。1分間の湧出量は約32,000リットルで、静岡県でも一番の総湯量を誇る温泉地です。豊かな海の幸・山の幸に恵まれており、お菓子の種類の多さでも有名です。

# 地域の概要

## 伊東市民病院 2023年度 年間患者数

外来 97,052人 入院 67,050人  
救急 6,887人 救急車 4,478件

(2023.4.1~2024.3.31)

地域医療振興協会  
伊豆総局ネットワーク

### 伊東市民病院

戸田診療所

安良里診療所

田子診療所

上河津診療所

いなずさ診療所

伊豆今井浜病院

伊豆下田診療所



### 伊豆半島南東地域

伊東市 東伊豆町  
河津町 下田市

人口 約 102,284 人  
(2024.4.1)

伊豆地域の観光交流客数  
約 3,718 万人  
(2022年度調査)

伊豆半島南東地域の医療圏を担う  
地域唯一の二次救急

豊富な症例の  
種類と件数



Generalな力と  
専門的臨床経験

伊東市民病院の担う地域医療は、伊豆半島東部および南部の約10万人の人口圏です。  
また、観光客は年間約3,718万人が伊豆半島を訪れ、週末や祝日、長期休暇中は、地域の住民だけでなく観光客の健康も守っています。

# 施設の概要

- 所在地 静岡県伊東市岡196番地の1
- 病床数 250床（一般194床・回復期リハ42床・HCU/CCU14床）
- 診療科数 18診療科  
内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、形成外科、整形外科、皮膚科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、



自院と他院からローテーションで回ってくる専攻医・研修医 年間受入の数

	2023年度	2024年度
研修医	伊東市民病院 J1 (8名) J2 (6名) 静岡県立総合病院 J2 (10名)	伊東市民病院 J1 (8名) J2 (8名) 静岡県立総合病院 J2 (7名)
専攻医	伊東市民病院 (3名) 東京ベイ浦安市川医療センター (12名) 東京北医療センター (1名) 横須賀市立うわまち病院 (1名) 聖マリアンナ医科大学病院 (1名) 麻生飯塚病院 (1名) 東海大学医学部附属病院 (1名)	伊東市民病院 (4名) 東京ベイ浦安市川医療センター (12名) 練馬光ヶ丘病院 (1名) 東海大学医学部附属病院 (1名)

伊東市民病院は250床の地域病院ですが、診療科は18科揃っており、新生児から高齢者まで地域のニーズに応えています。初期研修医の定員は1学年8名で、目が行き届くので丁寧な研修が受けられます。東京ベイ・浦安市川医療センターや、専攻プログラム連携施設からの支援専攻医にも恵まれ、屋根瓦式の丁寧な研修が受けられる環境です。



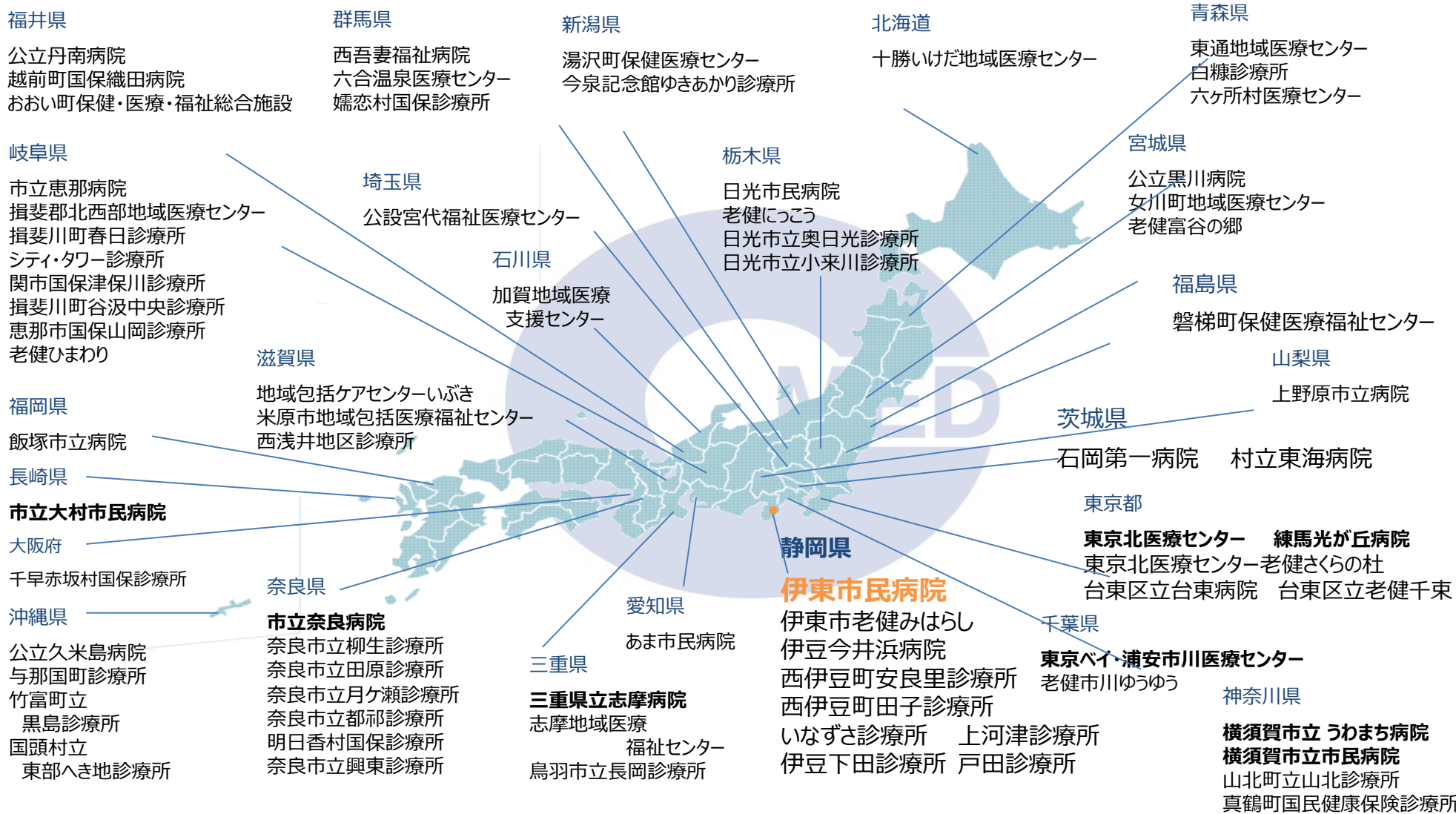
# 伊東市民病院が担う三つのミッション

- ① 救急診療を中心とした急性期医療  
ことわらない救急を実践
- ② 地域包括ケアシステムの確立  
紹介、逆紹介、行政との連携
- ③ 教育  
医師の養成（初期研修医、専攻医の採用）

伊東市民病院で初期研修をするメリットは、何と言っても、コモン・ディゼーズの診療能力がしっかり身に付くことです。24時間オープンな救急体制を敷いており、2次救急病院ながら、患者搬送先の3次救急病院に対して、Faxで心電図、iPadでCT画像などの送信をしながら的確な症例コンサルトやディスカッションをする力が求められます。昼間はヘリコプター、夜間は救急車で患者搬送に同乗するのも初期研修医の役目です。また、患者さんが自宅で安心して過ごせるよう在宅訪問診療も実施しており、救急・入院・外来・在宅と、一貫した地域包括ケアシステムの中での医師の役割をつぶさに経験し学ぶことができます。そして何よりも、病院全体で研修医や専攻医を育てるカルチャーがあり、多職種医療チームの360度研修で地域の患者さんのトータルケアを学ぶことができます。



# 地域医療振興協会の全国ネットワーク



地域医療振興協会は、全国70以上の病院・診療所のネットワークで地域医療を支えています。基幹病院には、東京ベイ浦安市川医療センター、東京北医療センター、練馬光が丘病院、横須賀 うわまち病院、横須賀市立市民病院、市立奈良病院、三重県立志摩病院など、錚々たる病院が名を連ねています。これら基幹病院は、合同で医師研修運営委員会を開いて、地域医療学会の運営協力や情報交換をし、研修の質を高める努力を重ねています。



# 2~3ヶ月間の地域医療研修

当協会が運営する全国のへき地病院・診療所で十分な時間をかけて地域医療を経験できます

- 地域での健康問題解決に必要な診療技術を理解する
- 保健医療介護福祉と在宅医療との連携を学ぶ
- 地域住民と語り合う
- 地域の医療スタッフと多職種協同学習

冬期は雪に覆われる青森県六ヶ所村



TVドラマのロケ地としても有名な  
沖縄県与那国町

全国組織の地域医療振興協会ならではの強みです

地域医療研修は、ネットワーク内のへき地医療機関から選択できます。基本的には、実績のある青森県六ヶ所村家庭医療センター（以下、六ヶ所村）での8~9週間（2か月間）の研修を推奨していますが、離島研修も可能です。



# Global Standard な地域医療の展開

米国式研修法で  
総合医を教育・育成している



## 東京ベイ・浦安市川医療センター

- 伊東市民病院初期・専攻医の研修受入れ  
(救急・内科・外科...)
- 伊東市民－東京ベイ後期総合内科たすきがけ  
プログラムを実施
- 専攻医を支援医師として伊東市民に派遣  
(総合内科・救急・外科...)



症例の種類や

経験できる数が豊富な



伊東市民病院

- 救急症例を救外受診から退院まで継続して  
担当できる
- 周辺に大病院や総合病院が少ないため、  
研修医が多様な臨床経験を積める実践の場
- 東京ベイ指導医や専攻医（総合内科・救急・  
外科...）からも教育を受けられる
- 平成28年11月大リーガー医を招聘し、  
さらなる教育システムの強化に取り組んでいる

## 「米国式研修」+「日本の地域医療」融合型の新たな研修スタイル

伊東市民病院初期研修の特徴に、東京ベイ浦安市川医療センター（以下、東京ベイ）との密接な関係があります。  
東京ベイの指導医の多くは米国での臨床研修経験者であり、救急や内科は東京ベイで米国式（「屋根瓦式」）研修を受けることができ、最新のエビデンスに基づいたEBM (Evidence-based Medicine) が身に付きます。  
また、伊東には、卒後3～5年目の専攻医が随時東京ベイから交代で支援に来て、マンツーマンで指導してくれます。

# 院内外のローテーションをバランスよく

東京ベイ・浦安市川医療センター 他、当協会に所属するさまざまな地域、環境、規模の施設や、診療科によっては協会外の研修病院・研修施設からも研修先を選択できます

## 必修

内科(6)【一般外来を含む】・救急部門(3)・小児科(2)・外科(1)・麻酔科(1)・産婦人科(1)  
精神科(1)・地域医療(2) ※地域医療重点プログラムの地域医療（医師少数区域3）

カッコ内の数字は月数（単位：1か月）

## 選択

内科・救急部門・小児科・外科・麻酔科・産婦人科・整形外科・脳神経外科・形成外科  
耳鼻いんこう科・皮膚科・眼科・放射線科・リハビリテーション科

	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月
1年次	内科＋一般外来				救急科	小児科	外科	麻酔科	東京ベイ 内科		選択	選択
2年次	内科 ＋ 一般外来		救急科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療		選択	選択	選択	

1年目の4月～5月は全員で内科を研修し、業務の不安を解消します。  
ローテーションは進路を考慮し一人一人の希望に合わせて作成いたします。  
但し、研修先施設の状況や働き方改革の規制によりご希望に添えない場合もございます。

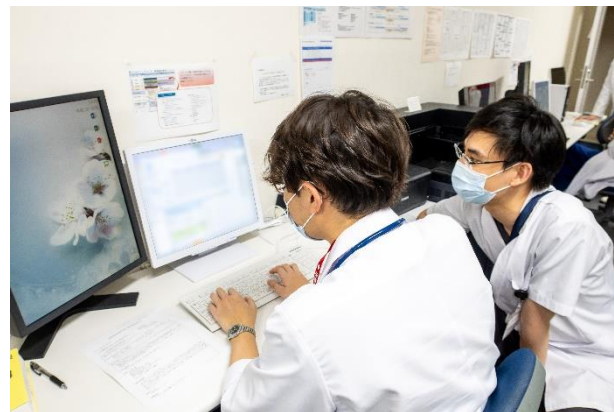
地域医療指向プログラムでは、東京ベイでの救急・内科、六ヶ所村での地域医療の他、産婦人科・小児科（横須賀市立うわまち病院・東京北医療センター）、精神科（沼津中央病院、NTT東日本伊豆病院）が組み込まれています。地域医療振興協会ネットワーク内であれば、その他の院外研修希望についても、出来る限りの対応をいたしますが、研修先施設の状況や、働き方改革の規制により希望が叶わない場合もございますのでご了承ください。

# 屋根瓦式の研修体制

指導医や上級医のバックアップの元で  
専攻医に気軽に質問・相談できる

屋根瓦式のメリット

1. 疑問を迅速に解決し、即座に臨床へ反映できる
2. 初期研修医と専攻医が互いに学びあえる



教育に熱意のある専攻医が東京ベイから派遣されています

「屋根瓦式」の研修体制とは、すぐ上のランクの医師がすぐ下のランクの医師をマンツーマンで指導することを言います。年齢差、キャリア差が小さいので、上の者は、過去の自分を思い出しながら、わからないところを細かく思いやりをもって指導できますし、下の者は、未来の医師像を目の当たりにしながら学べる利点があります。毎朝毎夕の患者ケアミーティング(振り返り)では、経験豊かな指導医が患者のケアの軌道修正をすることもあります。複雑な背景を持つ患者さんや家族へのインフォームド・コンセントには経験ある上級医も立ち会います。



# 救急医療は症例が豊富

- 年間救急外来件数 6,687件（時間外 5,413件）
- 年間救急車搬入件数 4,478台（時間外 3,004件）
- 伊豆半島東海岸  
伊東地区唯一の2次医療機関
- ヘリポートを完備  
3次救急と連携
- HCU/CCUの医療体制
- 救急搬送患者を  
入院から退院まで担当
- 幅広い疾患の救急医療に  
携わることができる

※件数はいずれも  
2023年度実績



研修医の役割も非常に大きく、やりがいのある現場です

伊東市民病院の救急症例は、東京ペイの医師も驚くほど密度の濃いものです。毎日救急車搬送は10台前後、ウォークインも10件前後ですが、タクシーがわりに救急車を使うような住民は稀で、いわゆる「コンビニ受診」も少なく、ほんとうに必要とされる救急対応で、日々、実力がついていく経験ができます。楽ではありませんが、充実感も大きい当直です。

# 研修医のための振り返り・勉強会

多職種合同チームで行われる  
朝夕のカンファレンス



入職したばかりの  
4月、5月にはシミュ  
レーションセンターで  
手技の講習会を行  
います。  
(縫合、中心静脈  
カテーテル、腰椎穿  
刺など)



初期研修医  
を対象とした  
症例振り返り  
や勉強会毎  
週を行って  
います。



研修医を中心に和やかな雰囲気  
で切磋琢磨しています

研修医のための勉強会が多くあります。4月5月には新研修医のための手技の講習会も行っています。  
ローテーションの科によって違いますが、内科では毎朝毎タミーティングがあり入院患者のケアに見落としがないかを検討します。

# 主な勉強会・カンファレンス

- CPC (隔月1回)
- 合同ケースカンファレンス (隔月1回)
- 内科NEJM抄読会 (週1回)
- 症例提示カンファレンス (週1回)  
研修医、専攻医合同
- 院内講師による勉強会 (週1回)  
HDB(Half Day Back)
- 消化器内科外科症例検討会 (隔週1回)
- 脳カンファレンス (隔週1回)
- 麻酔科術前コンサルテーション (随時)
- Teamsを利用し地域医療振興協会の講習会やカンファレンスが見れる (随時)
- 医師会主催等の研修会 等々

研修科にとらわれずさまざまな勉強会に参加できます

勉強会やカンファレンスは、各科で盛んに行われています。

科を超えて初期研修医共通の学びの場としては、Teamsでの地域医療振興協会の講習会やカンファレンスの共有や、「院内症例振り返り2分間プレゼン」、HDB(Half Day Back)での「入院患者の栄養管理」、心エコー名人検査技師による2回連続実習講義、画像診断学9回連続講義などがあります。研修医の希望を取り上げて、年ごとに新たなレクチャーが組まれます。



# シミュレーションセンター

スキル・トレーニングを安全に、効果的に行うことが可能  
その経験を現場で活かす機会にも数多く恵まれています



心肺蘇生用マネキン SimMan3G、レサシアン  
腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター  
消化器内視鏡シミュレーター  
SIM one 出産シミュレーター  
腹腔鏡下手術シミュレーター

等

県のバックアップもあり充実した研修環境を整えています

当院のシミュレーションセンターは、大学病院級に充実しており、2台のSimMan3G、1台のレサシアンの他、採血・CVライン挿入・挿管・穿刺などの手技練習機器や出産・手術・内視鏡のシミュレーター、心エコー腹部エコー練習器などが一式揃っており、自分の必要に応じて練習を重ねることができます。シミュレーションセンターを使用している合同研修も年に数回開催され、他院の研修医との交流もできます。

# e-Learning・オンライン文献検索

JADECOMの豊富なリソースを活かした教育システム



病院の枠を超え、さまざまな形式の教育を提供しています。  
Teamsを利用してJADECOM開催の講習会等も見放題。

## J A D E C O M 図 書 館 W E B

法人契約により無料で利用できます

医中誌Web  
Japan Medical Abstracts Society

医学論文をダウンロード 医療の総合ウェブサイト  
メディカルオンライン  
Medical\*Online

## DynaMed UpToDate®

【参考】個人契約（年額）

DynaMed	26,000円～
Up To Date	199ドル～
医中誌Web	24,000円～
メディカルオンライン	12,000円～

助成制度により格安で利用できます。

※ 1名1年当たりの助成上限額は45,000円まで。

院内はWi-Fiが使用でき、Up To Date や Dyna Med などをインターネットで検索しながら診療することができます。  
Up To Date や Dyna Med の契約には、からの補助金(8割程度)が出ます。  
各種学会や研究会への出席も奨励されており、交通費宿泊費の援助があります(上限10万円まで)。  
Teamsを利用しJADECOM主催の講習会等も見放題となっています。

# 院内環境・福利厚生



敷地内の**たんぽぽ保育所**  
毎日笑い声があふれています



一番の自慢は**源泉かけ流し温泉**  
仕事終わりにさっぱりリフレッシュ



**職員食堂**は昼食限定  
リーズナブルでおいしい



ホスピタルモールの**カフェ**  
手作りパンや焼きドーナツ  
やさしい味が人気です



病院から徒歩5分、眺望抜群の高台に  
**新職員宿舎** 平成29年2月竣工  
もちろん源泉かけ流し温泉付き

## 職員が楽しく働くことができる環境を提供しています

福利厚生も充実しています。職員食堂は業者による地産地消の新鮮な食材で安くておいしいと評判です。院内保育所も完備しており、出産後の職場復帰がスムーズにできます。何よりも、病院と宿舎の両方にそれぞれ異なる源泉のかけ流し温泉浴場があり、勤務で疲れたからだを優しく癒してくれます。



# 伊東市の風景 ～海・山～



左：人気観光スポット  
道の駅伊東マリンタウンと併設の  
ヨットハーバー  
足湯は全長43m!!

右：城ヶ崎海岸つり橋と  
夕陽で相模湾に輝く  
サンセットロード

下：国指定天然記念物の大室山(標  
高580m)は  
伊豆半島ジオパークの  
ランドマーク  
2月には勇壮な山焼きで真黒に  
変容する



伊東市は温泉観光都市ですが、喧騒とは無縁で、風光明媚な別荘地でもあります。

伊豆半島は、2018年4月、ユネスコより「世界ジオパーク」に認定されました。

「ジオパーク」とは、大地(ジオ)＋公園(パーク)のことで、地質学的遺産の保全や研究、新たな観光資源として活かすことを目的とした場所を指します。

はるか昔、火山活動を繰り返しながら北上した海底火山が、本州に衝突したことで現在の半島ができあがりました。今でも、隆起した海底火山の痕跡がいたるところで見られる、世界でも稀有な場所です。比較的忙しくない研修ローテーションでは、週末祝日に充実したレジャータイムが楽しめます。

# サークル活動でリフレッシュ！

サーフィン



ジョギング



バスケ



テニス



ゴルフ



研修への  
モチベーション

温泉めぐり



他職種との  
コミュニケーション

日頃の疲れを癒して  
心身ともに  
リフレッシュ



登山

他職種・他部署の  
職員と一緒に  
楽しめる



ヨット

スキューバ  
ダイビング



## プライベートタイムの充実もサポートしています

伊東病院で、伊東ならではの余暇活動を楽しみませんか？

宇佐美海岸では、サーファー垂涎のすごい波が体験できます。

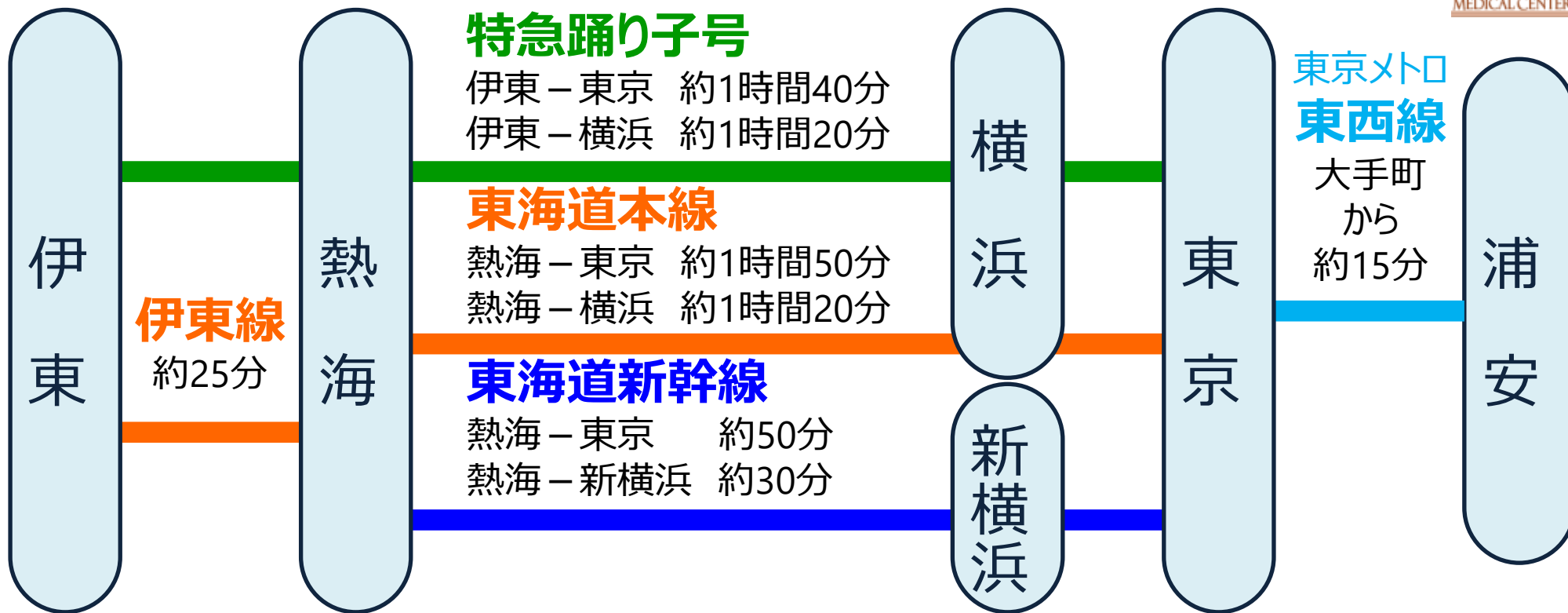
研修医の多くは、研修修了までにスキューバダイビングの免許を取得します。伊東近海は魚の種類も豊富で、クルーザーで釣りも楽しめます。

そのほか、ゴルフ、テニス、ロードバイクの同好会も盛んです。伊東の隣の川奈ゴルフ場は、フジサンケイレディスクラシックが毎年開催される名門ゴルフ場ですが、ゴルフ好きの大野智博士は、ここで採取した土から発見した放線菌が賛成する物質を抽出し、抗寄生虫薬イベルメクチンを開発し、ノーベル医学生理学賞を受賞されました。「よく遊び、よく学べ」のお手本のような話ですね。



# 都心へのアクセス良好

東京まで乗換無しで最短1時間40分！



都心での勉強会にも日帰りで参加できる立地です

伊東は、便数は少ないですが、いったん熱海まででしまえば新幹線もあり、都会へのアクセスは意外と便利です。  
東京ベイでの研修中はシティライフを満喫、伊東に帰れば風光明媚な別荘地気分と温泉にどっぷり浸かり、花も実もある初期研修を楽しんでください。  
もちろん、試練もあるでしょうが、何でも相談できる、家庭的な温かい雰囲気プログラムです。



# 地域医療重点プログラムについて

静岡県下の医師少数地域における実習を含む地域医療を重視しつつ、専門的医療とプライマリーケアをつなぐ全人的総合的診療が行える医師の育成を行う研修プログラムです。

## 地域研修について

必修の地域研修3ヶ月のうち、県内医師少数区域で2か月の研修、県外医師少数区域で1か月の研修を行います。

★地域医療(必修)の研修先施設については、15施設から選択が可能です。

県内(2か月)

伊豆今井浜病院、いなずさ診療所、西伊豆健育会病院

県外(1か月)

町立湯沢病院、日光市民病院、西吾妻福祉病院、女川町地域医療センター  
一部事務組合下北医療センター東通村診療所、磐梯町保健医療福祉センター  
公設宮代福祉医療センター、小笠原村診療所、揖斐郡北西部地域医療センター  
六ヶ所村地域家庭医療センター、おおい町保健・医療・福祉・総合施設診療所  
越前町国民健康保険織田病院

	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月
1年次	内科+一般外来				救急科	小児科	外科	麻酔科	東京ベイ 内科		選択	選択
2年次	内科 + 一般外来		救急科		小児科	産婦人科	精神科	地域医療 (医師少数区域)			選択	選択

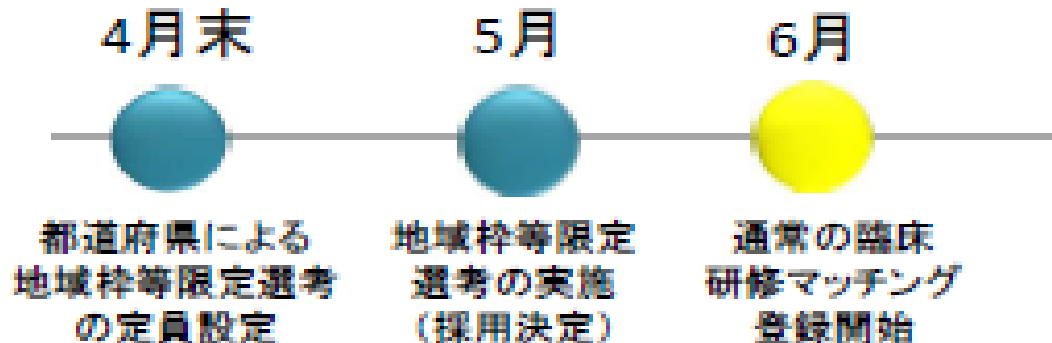
当院では地域医療指向プログラムの他に、地域医療を重視した、地域医療重点プログラムをもっています。医師少数区域に限定した地域研修を3ヶ月実施します。静岡県外の医師少数区域の研修では、地域医療振興協会ならではのネットワークを生かし、12施設から研修先の選択が可能です。

# 先行マッチングについて

「地域医療重点プログラム」は、対象医学生を優先的に採用する仕組みがあります。対象医学生はあらかじめ静岡県で選考された医学生で、その中から「地域医療重点プログラム」に応募があった場合先行して5月にマッチング採用試験を行います。

## 先行マッチング 対象者要件 (静岡県で選考)

- ①地域枠入試選抜者
  - ②卒業直後から9年間以上の県内勤務義務あり
  - ③本人・保護者が従事要件について書面同意あり
  - ④キャリア形成プログラム適用者
- ※キャリア形成プログラムの詳細はふじのくにホームページを参照してください



地域医療重点プログラムで早期マッチングの採用がなかった場合は、2次募集又は通常のマッチングで募集を行います。その場合受験対象者の条件①～④はなくなり、誰でも応募が可能です。

「地域医療重点プログラム」は、静岡県で選考された医学生が先行して5月にマッチング採用試験を行い、6月に開始の通常マッチングの前に研修病院の内定をもらうことができます。定員枠は最大でも2名までです。応募状況により静岡県が4月末に定員を決定します。定員や採用試験の情報は、5月に当院ホームページへ掲載しますので、興味のある方はご覧ください。

# 初期研修修了後は？

- ◆ 静岡伊豆半島総合診療後期研修プログラム
- ◆ 地域医療振興協会・所属施設の各種専門科プログラム
- ◆ オレゴン州立健康科学大学・ハワイ大学への海外研修

様々な選択が可能です

- 診療所－研修病院
- 離島・僻地－都内
- 総合医・家庭医－専門医
- 北：北海道－南：沖縄・離島
- 臨床・研究・医療政策・地域介入・ヘルス  
プロモーション・教育...



ホノルルにあるハワイ大学マノア校

日本全国に色々な設定で地域医療の視点を持って働ける場所があります

初期研修修了後には、地域医療振興協会や、ゆかりの大学病院のネットワーク内で、専門医資格を取得することができます。当院では、「静岡伊豆半島総合診療科専門研修プログラム」を実施しており、総合診療科の専門医取得が可能です。また、東京ベイ浦安市川医療センター×伊東市民病院のたすき掛けプログラムなども実施しており、内科、外科の専門医取得が可能となっています。近年、当院の初期臨床研修を修了した研修医が、これらのプログラムへ進むという傾向が増えてきています。



# 参加型病院見学 エクスターンシップ

春休み・夏休みを開催する病院見学イベント  
往復交通費支給 温泉付き宿舎へ宿泊無料

現在エクスターンシップは中止

救急対応トレーニング（平成28年）



聖マリアナ医科大学救急医学教授

藤谷茂樹先生

RRSを看護学生と学ぶ救急対応トレーニングや医学生向けのプログラム臨床推論トレーニングにご協力いただきました

（当時 東京ベイセンター長）

伊東市民病院では、春と夏の2回、「エクスターンシップ」を開催しています。

残念ながら新型コロナウイルスパンデミックをきっかけに、現在は春夏ともに中止となっておりますがエクスターンシップが再開となりましたら当院ホームページ等でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

多職種チームによる、地域包括ケアシステムを考える症例検討会は、医学生の皆さんにとっては医学部では学べない視点からのディスカッションを楽しみ学ぶ機会となるでしょう。



研修・見学のお申込み・各種お問い合わせ等は....

伊東市民病院臨床研修センター

e-mail: [ito-kenshu@ito-shimin-hp.jp](mailto:ito-kenshu@ito-shimin-hp.jp)

TEL: 0557-37-2626

FAX: 0557-35-0631

**facebook**

やっています

<https://www.facebook.com/ito.kenshu>



それでは皆さん、医学部5年生の方は病院見学で、医学部6年生の方は、8月のマッチング採用試験でお会いしましょう。ご応募をお待ちしています。